

平成24年1月20日
文化庁長官官房国際課

アヴィニヨン文化サミットについて

1. 日 時 平成23年11月17日（木）～11月18日（金）
2. 開催地 アヴィニヨン教皇庁（フランス）
3. 出席者 近藤文化庁長官、井上文化庁国際文化交流室長 他
4. サミット概要
 - ・ 今回の文化サミットは、本年、フランスにおいて、G8（ドーヴィル）、G20（カンヌ）開催されたのを契機として、ミッテラン仏文化・通信大臣が開催を呼びかけたもので、OECD、ユネスコ、WIPO など国際機関のほか、19か国から文化担当大臣等が出席した。同サミットでは、「インターネットと知的財産の執行について」、「デジタル時代の創作・デジタル化・普及について」の2つのテーマを取り上げ、議論された。
 - ・ 近藤長官は、冒頭、東日本大震災に対する各国の支援に対する謝辞を述べるとともに、文化が被災地の人々の復興の支えになっていることを報告した。また、同長官は、G8 ドーヴィルサミット共同宣言中の知的財産への言及に対して改めて賛意を表明し、そのフォローアップに必要な項目を提言した。最後に、著作権侵害への対応について、我が国の著作権法改正の状況を紹介するとともに、ACTA（偽造品の取引の防止に関する協定）の署名国拡大の必要性について述べた。
 - ・ 18日のとりまとめのセッションには、サルコジ大統領が駆けつけ、今回のテーマに関し演説を行った。